

2 有害大気汚染物質等モニタリング

愛知県、名古屋市、豊橋市、岡崎市及び豊田市は、大気汚染防止法（昭和 43（1968）年法律第 97 号）に基づき、有害大気汚染物質による大気汚染の状況を把握するための調査を実施しています。

2020（令和 2）年度における調査結果の概要は次のとおりです。

(1) 調査方法

ア 調査地点

県内の有害大気汚染物質による大気汚染の状況を適切に把握するため、表 4-5 及び図 4-2 に示す計 20 地点で調査を実施しました。

イ 調査対象物質

調査対象物質は、有害大気汚染物質のうち健康リスクがある程度高いとされている優先取組物質 22 物質の中から、環境庁の「有害大気汚染物質モニタリング指針」に基づき、「有害大気汚染物質等測定方法マニュアル」（1997（平成 9）年 2 月：2019（平成 31）年 3 月最終改訂 環境庁／環境省）で分析方法が示されている次の 20 物質と、水銀及びその化合物の計 21 物質としました。

(ア) 環境基準の定められている物質(4 物質)

…… ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン

(イ) 指針値の定められている物質(11 物質)

…… アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、水銀及びその化合物、
ニッケル化合物、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエン、
ヒ素及びその化合物、マンガン及びその化合物、塩化メチル、
アセトアルデヒド

(ウ) その他の物質(6 物質)

- ・アルデヒド類(1 物質)……………ホルムアルデヒド
- ・重金属類(2 物質)……………ベリリウム及びその化合物、クロム及びその化合物
- ・多環芳香族炭化水素(1 物質)…ベンゾ[a]ピレン
- ・その他(2 物質)……………酸化エチレン、トルエン

ウ 調査期間

2020 年 4 月から 2021 年 3 月まで

エ 試料採取方法及び分析方法

試料採取方法及び分析方法は、「有害大気汚染物質等測定方法マニュアル」（1997（平成 9）年 2 月：2019（平成 31）年 3 月最終改訂 環境庁／環境省）に基づき、表 4-6 のとおりとしました。

オ 調査地点の調査対象物質ごとの属性

環境省の「有害大気汚染物質モニタリング地点選定ガイドライン」（平成 25（2013）年 8 月 30 日環水大大発第 1308304 号）により、各調査地点の調査対象物質ごとに一般環境、固定発生源周辺、沿道、沿道かつ固定発生源周辺の属性を付与しました。その結果は、表 4-7 のとおりです。

表4-5 調査地点

調査機関	番号	調査地点	所在地
愛知県	1	小牧高校	小牧市小牧一丁目321
	2	稲沢市役所	稲沢市稲府町1
	3	東海市名和町	東海市名和町南之山10-13
	4	半田市東洋町	半田市東洋町一丁目3-6
名古屋市	5	会所町	名古屋市北区会所町126地先
	6	富田支所	〃 中川区春田三丁目215
	7	港陽	〃 港区港陽一丁目1-65
	8	野跡小学校	〃 港区野跡一丁目4-11
	9	白水小学校	〃 南区松下町二丁目1
	10	本地通	〃 南区本地通六丁目1-1
	11	元塩公園	〃 南区元塩町2
豊橋市	12	今橋	豊橋市今橋町1
	13	大崎	〃 大崎町字柿ノ木16
	14	二川	〃 大岩町字東郷内111-1
岡崎市	15	矢作	岡崎市矢作町馬乗110-1
	16	大平	〃 大平町字二の沢67
	17	東部檜山	〃 檜山町山ノ神21-31
豊田市	18	北部局(加納町)	豊田市加納町西股75
	19	中部局(三軒町)	〃 三軒町六丁目23-5
	20	新田局(花園町)	〃 花園町新田42-7

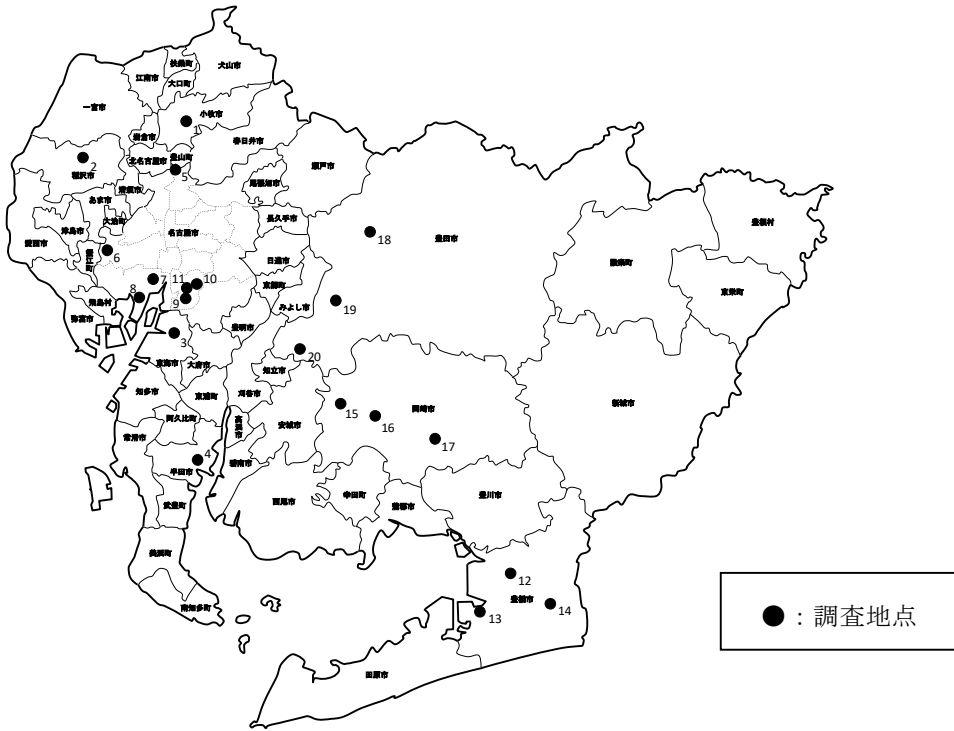


図4-2 調査地点位置図

表4-6 試料採取方法及び分析方法

区分	調査対象物質	試料採取方法及び分析方法	
環境基準設定物質	ベンゼン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ジクロロメタン	容器採取→低温濃縮→GC/MS法 又は 固体捕集→加熱脱着→GC/MS法	
	アクリロニトリル 塩化ビニルモノマー	容器採取→低温濃縮→GC/MS法 又は 固体捕集→加熱脱着→GC/MS法	
	水銀及びその化合物	金アマルガム捕集→加熱気化→冷原子吸光法	
	ニッケル化合物	フィルタ捕集→酸分解→ICP/AES法 又はICP/MS法	
指針値設定物質	クロロホルム 1,2-ジクロロエタン 1,3-ブタジエン	容器採取→低温濃縮→GC/MS法 又は 固体捕集→加熱脱着→GC/MS法	
	ヒ素及びその化合物	フィルタ捕集→酸分解→水素化物発生原子吸光法 又は水素化物発生ICP/AES法 又はICP/MS法	
	マンガン及びその化合物	フィルタ捕集→酸分解→ICP/AES法 又はICP/MS法	
	塩化メチル	容器採取→低温濃縮→GC/MS法	
	アセトアルデヒド	固相捕集→溶媒抽出→HPLC法	
	その他の物質	ホルムアルデヒド	固相捕集→溶媒抽出→HPLC法
		ベリリウム及びその化合物	フィルタ捕集→酸分解→ICP/AES法 又はICP/MS法
クロム及びその化合物		フィルタ捕集→酸分解→ICP/AES法 又はICP/MS法	
ベンゾ[a]ピレン		フィルタ捕集→溶媒抽出→HPLC法	
酸化エチレン		固相捕集→溶媒抽出→GC/MS法	
トルエン		容器採取→低温濃縮→GC/MS法	

(注) GC/MS法：ガスクロマトグラフ質量分析法
HPLC法：高速液体クロマトグラフ法
ICP/AES法：誘導結合プラズマ発光分析法
ICP/MS法：誘導結合プラズマ質量分析法

表4-7 調査地点の属性別調査対象物質

物質名 調査地点	ベンゼン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	アクリロニトリル	塩化ビニルモノマー	水銀及びその化合物	ニッケル化合物	クロロホルム	1,2-ジクロロエタン	1,3-ブタジエン	ヒ素及びその化合物	マンガン及びその化合物	アセトアルデヒド	ホルムアルデヒド	酸化エチレン	ペンゾ[a]ピレン	クロム及びその化合物	ベリリウム及びその化合物	塩化メチル	トルエン
小牧高校	A	A	A	A	A	A			A	A	A									A	B
稲沢市役所	C	C	C	D	C	C			C	C	C			C	C		C			C	C
東海市名和町	B	A	A	A	B	A	A	B	A	A	A	A	B	A	A	A	A	B	A	A	B
半田市東洋町	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A
会所町	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
富田支所	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
港陽	B	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
野跡小学校	B	A	A	A	B	A			A	A	A									A	A
白水小学校	B	A	A	A	B	A	A	B	A	A	A	A	B	A	A	A	A	B	A	A	A
本地通	C	C	C	C	C	C	C	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
元塩公園	D	C	C	C	C	C	C	D	C	C	C	C	D	C	C	C	C	D	C	C	C
今橋	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
大崎	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	B	A	A	B	A	A	B
二川	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	B
矢作	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	D	C	C	C	C	C	C	D
大平	C										C			D	C		C				C
東部檜山	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
北部局(加納町)																					B
中部局(三軒町)	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
新田局(花園町)	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	D	C	C	C	C	C	C

凡例 A:一般環境、B:固定発生源周辺、C:沿道、D:沿道かつ固定発生源周辺

(2) 環境基準及び指針値

ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びジクロロメタンについては、環境基準が表4-8のとおり定められています。

また、アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、水銀及びその化合物、ニッケル化合物、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエン、ヒ素及びその化合物、マンガン及びその化合物、塩化メチル、アセトアルデヒドについては環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値（指針値）が表4-9のとおり定められています。

なお、平成9（1997）年2月12日付け環大企第37号環境庁大気保全局長通知において、ベンゼン等の大気環境濃度の状態を環境基準に照らして評価する場合は、環境基準が1年平均値についての条件として定められていることから、環境基準及び指針値の定められている物質については同一地点における1年平均値と認められる値との比較によって評価を行いました。

表4-8 環境基準

物質	環境基準	
ベンゼン	年平均値が $3 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	平成9(1997)年2月4日環境庁告示
トリクロロエチレン	年平均値が $130 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	平成30(2018)年11月19日環境省告示
テトラクロロエチレン	年平均値が $200 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	平成9(1997)年2月4日環境庁告示
ジクロロメタン	年平均値が $150 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	平成13(2001)年4月20日環境省告示

表4-9 指針値

物質	指針値	
アクリロニトリル	年平均値が $2 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	平成15(2003)年9月30日付け 環管総発第030930004号通知
塩化ビニルモノマー	年平均値が $10 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	〃
水銀及びその化合物	年平均値が $40\text{ng Hg}/\text{m}^3$ 以下	〃
ニッケル化合物	年平均値が $25\text{ng Ni}/\text{m}^3$ 以下	〃
クロロホルム	年平均値が $18 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	平成18(2006)年12月20日付け 環水大総発第061220001号通知
1,2-ジクロロエタン	年平均値が $1.6 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	〃
1,3-ブタジエン	年平均値が $2.5 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	〃
ヒ素及びその化合物	年平均値が $6\text{ng As}/\text{m}^3$ 以下	平成22(2010)年10月15日付け 環水大総発第1010150002号 環水大総発第1010150004号通知
マンガン及びその化合物	年平均値が $140\text{ng Mn}/\text{m}^3$ 以下	平成26(2014)年5月1日付け 環水大総発第1405011号通知
塩化メチル	年平均値が $94 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	令和2(2020)年8月20日付け 環水大総発第2008201号通知
アセトアルデヒド	年平均値が $120 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	〃

(注) Hg、Ni、As、Mn：水銀及びその化合物、ニッケル化合物、ヒ素及びその化合物、マンガン及びその化合物をそれぞれ水銀、ニッケル、ヒ素、マンガンの量に換算した量

(3) 調査結果

2020年度の調査結果の概要は、次のとおりです。

ア 環境基準が定められている物質

環境基準が定められているベンゼン等 4 物質について、2020年度の調査結果の概要を表 4-10 に、年平均値の経年変化を図 4-3 に示します。

2020年度の調査結果を環境基準値と比較すると、次のとおりです。

(ア) ベンゼン

県内 19 地点での年平均値の濃度範囲は $0.44\sim 0.80\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、すべての地点で環境基準を達成しました。

(イ) トリクロロエチレン

県内 18 地点での年平均値の濃度範囲は $0.013\sim 1.1\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、すべての地点で環境基準を達成し、基準値を大幅に下回りました。

(ウ) テトラクロロエチレン

県内 18 地点での年平均値の濃度範囲は $0.0052\sim 0.32\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、すべての地点で環境基準を達成し、基準値を大幅に下回りました。

(エ) ジクロロメタン

県内 18 地点での年平均値の濃度範囲は $0.66\sim 3.9\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、すべての地点で環境基準を達成し、基準値を大幅に下回りました。

表4-10 環境基準の定められている物質の調査結果

調査対象物質	属性	調査地点数	環境基準値を下回った調査地点数	平均値	最小値	最大値	環境基準
ベンゼン [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]	一般環境	7	7	0.59	0.44	0.77	3
	固定発生源周辺	4	4	0.73	0.68	0.78	
	沿道	7	7	0.69	0.46	0.80	
	沿道かつ固定発生源周辺	1	1	0.72	0.72	0.72	
	県内全地点	19	19	0.66	0.44	0.80	
トリクロロエチレン [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]	一般環境	11	11	0.31	0.013	1.1	130
	沿道	7	7	0.31	0.060	1.0	
	県内全地点	18	18	0.31	0.013	1.1	
テトラクロロエチレン [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]	一般環境	11	11	0.089	0.0052	0.32	200
	沿道	7	7	0.11	0.0068	0.31	
	県内全地点	18	18	0.097	0.0052	0.32	
ジクロロメタン [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]	一般環境	11	11	1.4	0.66	2.2	150
	沿道	6	6	2.1	1.0	3.9	
	沿道かつ固定発生源周辺	1	1	0.89	0.89	0.89	
	県内全地点	18	18	1.6	0.66	3.9	

- (注) 1 調査地点ごとの年平均値の算出は算術平均により、検出下限値未満の測定値を検出下限値の1/2として算出した。
 2 平均値は、地点ごとの年平均値の平均値を示す。
 3 最小値、最大値は、地点ごとの年平均値のうちで、それぞれ最小、最大の値を示す。

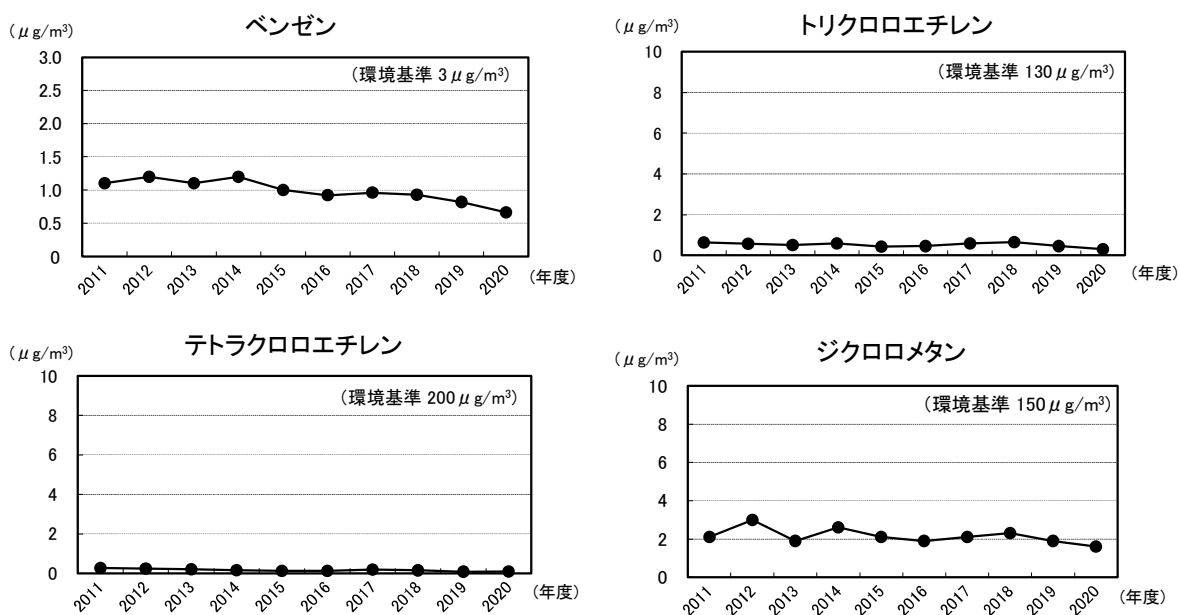


図4-3 環境基準の定められている物質の年平均値の経年変化

イ 指針値が定められている物質

指針値が定められているアクリロニトリル等 11 物質について、調査結果の概要を表 4-11 に、年平均値の経年変化を図 4-4 に示します。

調査結果を指針値と比較すると、次のとおりです。

(ア) アクリロニトリル

県内 18 地点での年平均値の濃度範囲は $0.0017\sim 0.37\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、すべての地点で指針値を満足し、大幅に下回りました。

(イ) 塩化ビニルモノマー

県内 18 地点での年平均値の濃度範囲は $0.0022\sim 0.012\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、すべての地点で指針値を満足し、大幅に下回りました。

(ウ) 水銀及びその化合物

県内 15 地点での年平均値の濃度範囲は $1.3\sim 2.7\text{ng Hg}/\text{m}^3$ であり、すべての地点で指針値を満足し、大幅に下回りました。

(エ) ニッケル化合物

県内 15 地点での年平均値の濃度範囲は $0.57\sim 12\text{ng Ni}/\text{m}^3$ であり、すべての地点で指針値を満足しました。

(オ) クロロホルム

県内 18 地点での年平均値の濃度範囲は $0.11\sim 0.38\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、すべての地点で指針値を満足し、大幅に下回りました。

(カ) 1,2-ジクロロエタン

県内 18 地点での年平均値の濃度範囲は $0.060\sim 0.28\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、すべての地点で指針値を満足し、大幅に下回りました。

(キ) 1,3-ブタジエン

県内 19 地点での年平均値の濃度範囲は $0.0090\sim 0.15\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、すべての地点で指針値を満足し、大幅に下回りました。

(ク) ヒ素及びその化合物

県内 15 地点での年平均値の濃度範囲は $0.29\sim 2.0\text{ng As}/\text{m}^3$ であり、すべての地点で指針値を満足しました。

(ケ) マンガン及びその化合物

県内 15 地点での年平均値の濃度範囲は $3.8\sim 71\text{ng Mn}/\text{m}^3$ であり、すべての地点で指針値を満足しました。

(コ) 塩化メチル

県内 18 地点での年平均値の濃度範囲は $0.32\sim 1.5\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、すべての地点で指針値を満足し、大幅に下回りました。

(サ) アセトアルデヒド

県内 17 地点での年平均値の濃度範囲は $1.1\sim 3.5\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、すべての地点で指針値を満足し、大幅に下回りました。

表 4-11 指針値の定められている物質の調査結果

調査対象物質	属性	調査地点数	指針値を下 回った調査地 点数	平均値	最小値	最大値	指針値
アクリロニトリル [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]	一般環境	8	8	0.044	0.0017	0.13	2
	固定発生源周辺	3	3	0.15	0.040	0.37	
	沿道	7	7	0.036	0.0017	0.12	
	県内全地点	18	18	0.059	0.0017	0.37	
塩化ビニルモノマー [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]	一般環境	11	11	0.0071	0.0022	0.012	10
	沿道	7	7	0.0071	0.0028	0.011	
	県内全地点	18	18	0.0071	0.0022	0.012	
水銀及びその化合物 [ng Hg/ m^3]	一般環境	9	9	1.9	1.3	2.7	40
	沿道	6	6	1.8	1.5	2.0	
	県内全地点	15	15	1.9	1.3	2.7	
ニッケル化合物 [ng Ni/ m^3]	一般環境	6	6	1.7	0.57	2.7	25
	固定発生源周辺	3	3	6.9	3.1	12	
	沿道	4	4	1.8	0.72	2.6	
	沿道かつ固定発生源周辺	2	2	9.9	7.8	12	
	県内全地点	15	15	3.9	0.57	12	
クロロホルム [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]	一般環境	11	11	0.23	0.11	0.38	18
	沿道	7	7	0.23	0.11	0.34	
	県内全地点	18	18	0.23	0.11	0.38	
1,2-ジクロロエタン [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]	一般環境	10	10	0.16	0.061	0.28	1.6
	固定発生源周辺	1	1	0.10	0.10	0.10	
	沿道	7	7	0.15	0.060	0.27	
	県内全地点	18	18	0.15	0.060	0.28	
1,3-ブタジエン [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]	一般環境	11	11	0.045	0.0090	0.15	2.5
	沿道	8	8	0.047	0.0098	0.065	
	県内全地点	19	19	0.046	0.0090	0.15	
ヒ素及びその化合物 [ng As/ m^3]	一般環境	9	9	1.0	0.31	2.0	6
	沿道	6	6	1.1	0.29	1.9	
	県内全地点	15	15	1.1	0.29	2.0	
マンガン及びその化合物 [ng Mn/ m^3]	一般環境	5	5	17	3.8	31	140
	固定発生源周辺	4	4	36	6.9	71	
	沿道	5	5	16	5.2	30	
	沿道かつ固定発生源周辺	1	1	34	34	34	
	県内全地点	15	15	23	3.8	71	
塩化メチル [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]	一般環境	11	11	1.1	0.32	1.5	94
	沿道	7	7	1.2	0.32	1.4	
	県内全地点	18	18	1.2	0.32	1.5	
アセトアルデヒド [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]	一般環境	9	9	2.1	1.1	3.3	120
	沿道	6	6	2.0	1.3	3.5	
	沿道かつ固定発生源周辺	2	2	2.7	2.6	2.8	
	県内全地点	17	17	2.1	1.1	3.5	

(注) 1 調査地点ごとの年平均値の算出は算術平均により、検出下限値未満の測定値を検出下限値の1/2として算出した。

2 平均値は、地点ごとの年平均値の平均値を示す。

3 最小値、最大値は、地点ごとの年平均値のうちで、それぞれ最小、最大の値を示す。

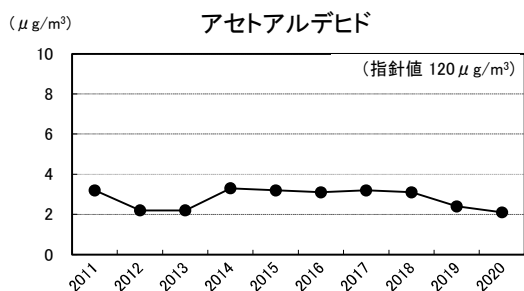
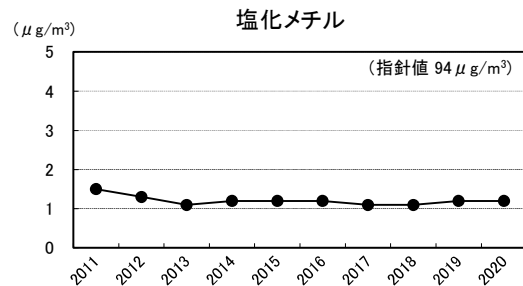
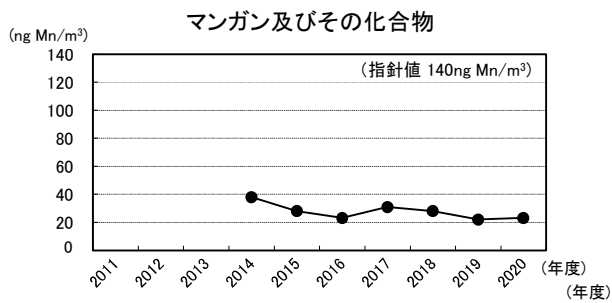
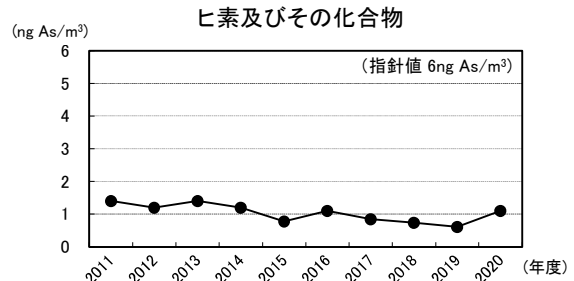
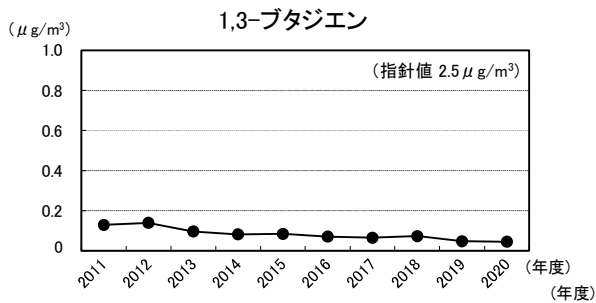
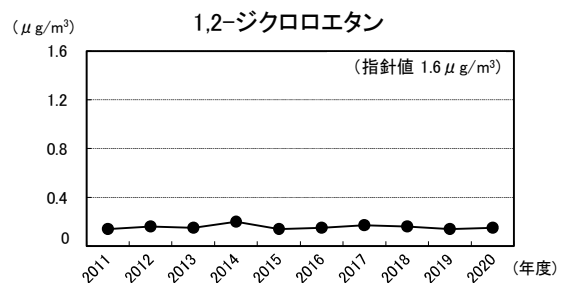
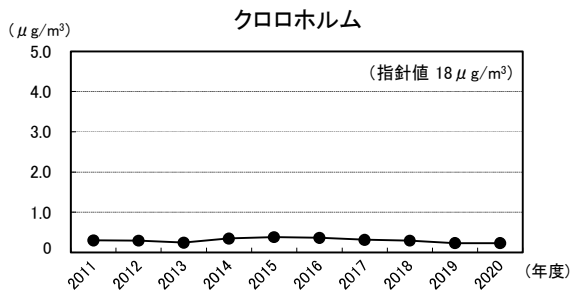
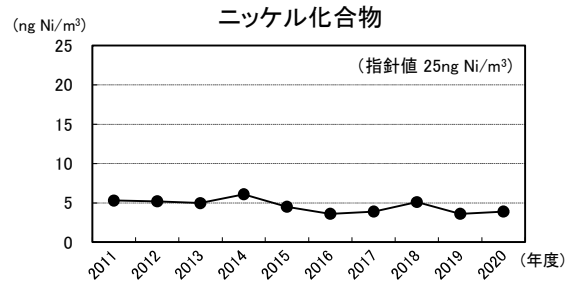
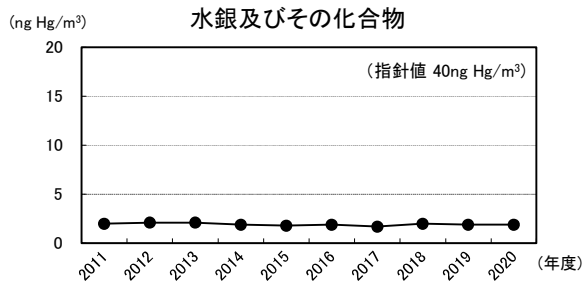
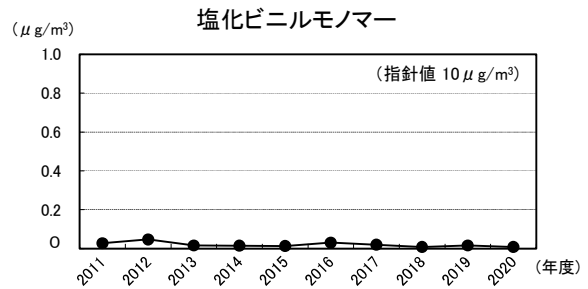
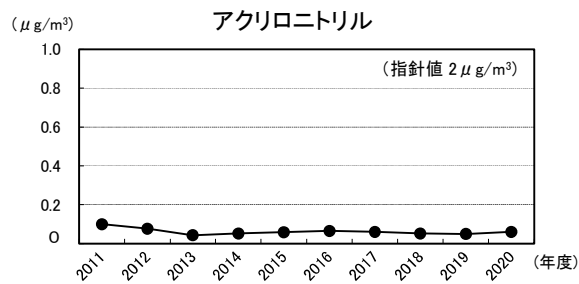


図4-4 指針値の定められている物質の年平均値の経年変化

ウ その他の物質

環境基準等が定められていないアセトアルデヒド等の 6 物質について、2020 年度の調査結果の概要を表 4-12 に、年平均値の経年変化を図 4-5 に示します。

また、参考に全国の地方公共団体及び環境省が 2019（令和元）年度に実施した調査結果を表 4-13 に示します。

表 4-12 その他の物質の調査結果

調査対象物質	属性	調査地点数	平均値	最小値	最大値
ホルムアルデヒド [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]	一般環境	7	2.3	1.3	3.4
	固定発生源周辺	2	3.1	2.9	3.3
	沿道	7	2.7	2.1	5.2
	沿道かつ固定発生源周辺	1	1.7	1.7	1.7
	県内全地点	17	2.5	1.3	5.2
酸化エチレン [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]	一般環境	9	0.086	0.050	0.20
	沿道	6	0.075	0.053	0.10
	県内全地点	15	0.081	0.050	0.20
ベンゾ [a] ピレン [ng/m^3]	一般環境	9	0.12	0.073	0.25
	沿道	8	0.10	0.072	0.13
	県内全地点	17	0.11	0.072	0.25
バリリウム及びその化合物 [ng/m^3]	一般環境	9	0.017	0.0040	0.037
	沿道	6	0.016	0.0046	0.026
	県内全地点	15	0.017	0.0040	0.037
クロム及びその化合物 [ng/m^3]	一般環境	6	4.6	0.97	10
	固定発生源周辺	3	19	15	25
	沿道	5	5.2	1.7	11
	沿道かつ固定発生源周辺	1	17	17	17
	県内全地点	15	8.5	0.97	25
トルエン [$\mu\text{g}/\text{m}^3$]	一般環境	7	4.0	2.4	5.5
	固定発生源周辺	5	4.9	3.0	7.0
	沿道	7	5.0	2.9	6.1
	沿道かつ固定発生源周辺	1	4.9	4.9	4.9
	県内全地点	20	4.6	2.4	7.0

(注) 1 調査地点ごとの年平均値の算出は算術平均により、検出下限値未満の測定値を検出下限値の1/2として算出した。

2 平均値は、地点ごとの年平均値の平均値を示す。

3 最小値、最大値は、地点ごとの年平均値のうちで、それぞれ最小、最大の値を示す。

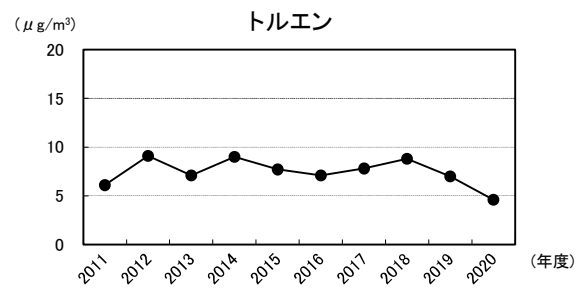
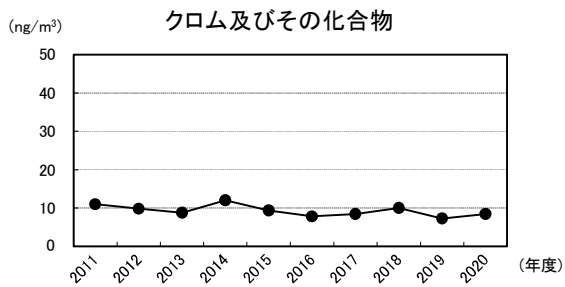
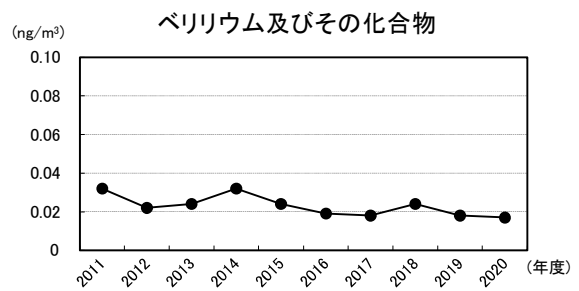
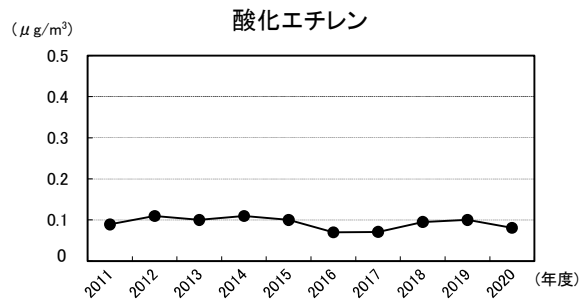
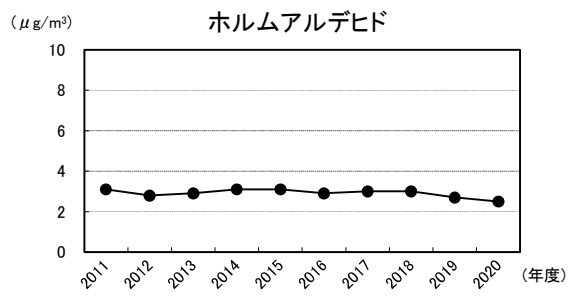


図4-5 その他の物質の年平均値の経年変化

表4-13 令和元年度全国地方公共団体等の有害大気汚染物質モニタリング結果

調査対象物質	地域分類	調査地点数	検体数	平均値	最小値	最大値	
環境基準が設定されている物質	ベンゼン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	一般環境	217	2,605	0.74	0.24	2.0
		固定発生源周辺	78	948	1.1	0.32	3.0
		沿道	90	1,080	0.92	0.40	1.9
		沿道かつ固定発生源周辺	14	168	0.99	0.48	2.6
		全地点	399	4,801	0.86	0.24	3.0
	トリクロロエチレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	一般環境	252	3,025	0.34	0.0035	6.3
		固定発生源周辺	37	456	8.8	0.0053	100
		沿道	62	744	0.30	0.0055	2.9
		沿道かつ固定発生源周辺	2	24	2.0	1.1	3.0
		全地点	353	4,249	1.2	0.0035	100
	テトラクロロエチレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	一般環境	254	3,048	0.097	0.0048	0.80
		固定発生源周辺	29	348	0.16	0.010	1.5
		沿道	63	756	0.10	0.0090	0.60
		沿道かつ固定発生源周辺	1	12	0.090	0.090	0.090
		全地点	347	4,164	0.10	0.0048	1.5
	ジクロロメタン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	一般環境	237	2,845	1.3	0.26	7.8
固定発生源周辺		51	612	2.7	0.46	39	
沿道		60	720	1.5	0.36	7.3	
沿道かつ固定発生源周辺		6	72	1.9	0.98	3.3	
全地点		354	4,249	1.6	0.26	39	
指針値が設定されている物質	アクリロニトリル ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	一般環境	230	2,760	0.049	0.0028	0.77
		固定発生源周辺	44	528	0.15	0.0055	0.98
		沿道	56	672	0.067	0.0049	0.42
		沿道かつ固定発生源周辺	2	24	0.059	0.020	0.098
		全地点	332	3,984	0.064	0.0028	0.98
	塩化ビニルモノマー ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	一般環境	237	2,844	0.035	0.0025	1.2
		固定発生源周辺	33	396	0.11	0.0027	0.76
		沿道	57	684	0.022	0.0028	0.18
		沿道かつ固定発生源周辺	1	12	0.020	0.0020	0.020
		全地点	328	3,936	0.041	0.0025	1.2
	水銀及びその化合物 (ng Hg/ m^3)	一般環境	212	2,544	1.8	0.70	8.2
		固定発生源周辺	28	336	2.1	1.2	8.3
		沿道	41	492	1.7	1.1	2.3
		沿道かつ固定発生源周辺	-	-	-	-	-
	ニッケル化合物 (ng Ni/ m^3)	一般環境	281	3,372	1.8	0.70	8.3
		固定発生源周辺	197	2,377	2.7	0.11	20
		沿道	44	528	5.3	0.81	23
		沿道かつ固定発生源周辺	37	444	2.6	0.68	8.0
	クロロホルム ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	一般環境	3	36	9.5	5.6	14
		固定発生源周辺	281	3,385	3.2	0.11	23
		沿道	235	2,821	0.21	0.011	1.3
		沿道かつ固定発生源周辺	40	480	0.28	0.096	1.3
	1,2-ジクロロエタン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	一般環境	57	684	0.21	0.12	1.2
		固定発生源周辺	2	24	0.51	0.20	0.82
		沿道	334	4,009	0.22	0.011	1.3
		沿道かつ固定発生源周辺	3	36	0.20	0.12	0.36
	1,3-ブタジエン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	一般環境	334	4,009	0.15	0.036	0.95
		固定発生源周辺	232	2,785	0.14	0.036	0.53
沿道		42	504	0.22	0.097	0.95	
沿道かつ固定発生源周辺		57	684	0.14	0.050	0.28	
ヒ素及びその化合物 (ng As/ m^3)	一般環境	3	36	9.5	5.6	14	
	固定発生源周辺	228	2,736	0.062	0.0026	0.66	
	沿道	40	480	0.14	0.013	1.0	
	沿道かつ固定発生源周辺	99	1,188	0.10	0.015	0.28	
マンガン及びその化合物 (ng Mn/ m^3)	一般環境	2	24	0.27	0.060	0.48	
	固定発生源周辺	369	4,428	0.081	0.0026	1.0	
	沿道	208	2,509	0.97	0.081	4.2	
	沿道かつ固定発生源周辺	33	396	3.1	0.19	20	
アセトアルデヒド ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	一般環境	40	480	1.1	0.29	2.4	
	固定発生源周辺	281	3,385	1.2	0.081	20	
	沿道	189	2,269	18	0.81	100	
	沿道かつ固定発生源周辺	51	624	39	2.2	250	
塩化メチル ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	一般環境	36	432	20	5.9	50	
	固定発生源周辺	2	24	46	38	55	
	沿道	278	3,349	22	0.81	250	
	沿道かつ固定発生源周辺	3	36	3.1	2.4	3.8	
ホルムアルデヒド ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	一般環境	303	3,636	2.2	0.57	16	
	固定発生源周辺	189	2,268	2.1	0.62	16	
	沿道	21	252	2.0	0.98	5.0	
	沿道かつ固定発生源周辺	90	1,080	2.2	0.57	9.0	
ベリリウム及びその化合物 (ng/ m^3)	一般環境	3	36	3.1	2.4	3.8	
	固定発生源周辺	303	3,636	2.2	0.57	16	
	沿道	233	2,797	1.4	0.077	3.6	
	沿道かつ固定発生源周辺	31	372	1.6	1.1	3.1	
ベンゾ[a]ピレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	一般環境	54	648	1.4	0.62	2.9	
	固定発生源周辺	1	12	1.4	1.4	1.4	
	沿道	1	12	1.4	1.4	1.4	
	沿道かつ固定発生源周辺	319	3,829	1.4	0.077	3.6	
指針値が設定されている物質	ホルムアルデヒド ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	全地点	311	3,732	2.6	0.43	11
	ベリリウム及びその化合物 (ng/ m^3)	全地点	263	3,169	0.016	0.0016	0.071
	クロム及びその化合物 (ng/ m^3)	全地点	271	3,265	4.5	0.077	45
	ベンゾ[a]ピレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	全地点	299	3,601	0.16	0.0085	3.0
	酸化エチレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	全地点	234	2,808	0.078	0.013	0.63
	トルエン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	全地点	369	4,429	7.1	0.15	280

(注) 出典：環境省公表資料（2021（令和3）年3月）

(参考)

有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質一覧

区分	定義	物質名	
有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質	指定物質 (3)	人の健康に係る被害を防止するためその排出又は飛散を早急に抑制しなければならぬもの (附則第9項)	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンゼン ・トリクロロエチレン ・テトラクロロエチレン
	優先取組物質 (22)	有害性の程度が我が国の大気環境の状況等に照らして健康リスクがある程度高いと考えられるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・アクリロニトリル ・アセトアルデヒド ・塩化ビニルモノマー ・塩化メチル ・クロム及び三価クロム化合物 (注1) ・六価クロム化合物 (注2) ・クロロホルム ・酸化エチレン ・1,2-ジクロロエタン ・ジクロロメタン ・ダイオキシン類 (注3) ・トルエン ・ニッケル化合物 ・ヒ素及びその化合物 ・1,3-ブタジエン ・ベリリウム及びその化合物 ・ベンゾ [a] ピレン ・ホルムアルデヒド ・マンガン及びその化合物
	(247)	長期毒性を有することや、大気汚染の原因となり得ることを科学的に明らかにすることは、實際上困難を伴うものが多いが、未然防止の見地から選定されたもの	<ul style="list-style-type: none"> ・亜鉛及びその化合物 ・キシレン ・四塩化炭素 ・フェノール ・PCB 等

注1、注2：クロム及びその化合物として測定。

注3：ダイオキシン類は、ダイオキシン類大気環境モニタリングで調査している。

有害大気汚染物質モニタリングの対象は21物質。

(水銀及びその化合物並びに優先取組物質 (22物質) からダイオキシン類を除き、クロム及び三価クロム化合物と六価クロム化合物を、クロム及びその化合物として測定。)

2 有害大気汚染物質等モニタリング

(1) 環境基準の定められている物質の調査地点別結果 (単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査機関	調査地点	ベンゼン			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	小牧高校	12	0.56	0.39	0.88
	稲沢市役所	12	0.63	0.49	0.94
	東海市名和町	12	0.75	0.40	1.2
	半田市東洋町	12	0.77	0.25	1.3
名古屋市	会所町	12	0.74	0.18	1.3
	富田支所	12	0.68	0.18	1.1
	港陽	12	0.68	0.19	1.1
	野跡小学校	12	0.78	0.20	1.5
	白水小学校	12	0.72	0.15	1.1
	本地通	12	0.77	0.17	1.2
	元塩公園	12	0.72	0.17	1.0
豊橋市	今橋	12	0.46	0.28	0.62
	大崎	12	0.55	0.34	0.87
	二川	12	0.44	0.23	0.66
岡崎市	矢作	12	0.64	0.26	1.4
	大平	12	0.76	0.28	1.4
	東部樫山	12	0.50	0.20	0.79
豊田市	中部局 (三軒町)	12	0.65	0.23	1.4
	新田局 (花園町)	12	0.80	0.21	1.8
県内全地点平均 (19地点)		—	0.66	0.44	0.80

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査機関	調査地点	トリクロロエチレン			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	小牧高校	12	0.13	<0.008	0.39
	稲沢市役所	12	0.15	<0.008	0.36
	東海市名和町	12	0.28	<0.003	0.95
	半田市東洋町	12	0.037	<0.003	0.13
名古屋市	会所町	12	0.19	0.10	0.34
	富田支所	12	0.26	0.085	0.72
	港陽	12	0.59	0.12	2.7
	野跡小学校	12	1.1	0.12	2.7
	白水小学校	12	0.39	0.085	1.1
	本地通	12	1.0	0.24	4.0
	元塩公園	12	0.32	0.15	0.84
豊橋市	今橋	12	0.28	0.080	0.49
	大崎	12	0.27	0.10	0.46
	二川	12	0.29	0.088	0.48
岡崎市	矢作	12	0.060	<0.003	0.31
	東部樫山	12	0.013	<0.003	0.044
豊田市	中部局 (三軒町)	12	0.096	<0.003	0.34
	新田局 (花園町)	12	0.18	<0.003	0.59
県内全地点平均 (18地点)		—	0.31	0.013	1.1

(注) 1 調査地点ごとの平均値の算出は算術平均により、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として算出した。

2 県内全地点平均の最小値・最大値は、年平均値の最小値・最大値を示す。

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査機関	調査地点	テトラクロロエチレン			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	小牧高校	12	0.0052	<0.0029	0.019
	稲沢市役所	12	0.0068	<0.0029	0.037
	東海市名和町	12	0.0068	<0.003	0.024
	半田市東洋町	12	0.0058	<0.003	0.026
名古屋市	会所町	12	0.067	0.020	0.18
	富田支所	12	0.038	<0.013	0.089
	港陽	12	0.12	<0.013	0.44
	野跡小学校	12	0.057	<0.013	0.22
	白水小学校	12	0.10	<0.013	0.31
	本地通	12	0.13	0.023	0.34
	元塩公園	12	0.21	0.060	0.55
豊橋市	今橋	12	0.31	0.12	0.55
	大崎	12	0.30	0.06	0.53
	二川	12	0.32	0.13	0.54
岡崎市	矢作	12	0.0086	<0.0029	0.058
	東部樫山	12	0.0060	<0.0030	0.027
豊田市	中部局 (三軒町)	12	0.022	<0.007	0.058
	新田局 (花園町)	12	0.037	<0.007	0.091
県内全地点平均 (18地点)		—	0.097	0.0052	0.32

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査機関	調査地点	ジクロロメタン			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	小牧高校	12	1.6	0.96	2.9
	稲沢市役所	12	0.89	0.51	1.5
	東海市名和町	12	1.2	0.52	3.6
	半田市東洋町	12	0.71	0.34	1.3
名古屋市	会所町	12	1.8	0.23	4.9
	富田支所	12	1.9	0.19	4.3
	港陽	12	2.0	0.18	6.6
	野跡小学校	12	1.8	0.20	5.5
	白水小学校	12	2.2	0.18	8.2
	本地通	12	3.9	0.34	12
	元塩公園	12	3.3	0.23	11
豊橋市	今橋	12	1.0	0.45	1.6
	大崎	12	0.98	0.54	1.6
	二川	12	1.1	0.53	2.7
岡崎市	矢作	12	1.2	0.37	2.2
	東部樫山	12	0.66	0.33	1.0
豊田市	中部局 (三軒町)	12	0.98	0.47	2.0
	新田局 (花園町)	12	1.3	0.62	2.4
県内全地点平均 (18地点)		—	1.6	0.66	3.9

(2) 指針値の定められている物質の調査地点別結果 (単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査機関	調査地点	アクリロニトリル			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	小牧高校	12	0.026	<0.0025	0.12
	稲沢市役所	12	0.0022	<0.0012	0.005
	東海市名和町	12	0.37	<0.0028	2.3
	半田市東洋町	12	0.0046	<0.0023	0.016
名古屋市	会所町	12	0.025	<0.020	0.077
	富田支所	12	0.018	<0.020	0.052
	港陽	12	0.034	<0.020	0.095
	野跡小学校	12	0.040	<0.020	0.21
	白水小学校	12	0.048	<0.020	0.11
	本地通	12	0.024	<0.020	0.053
	元塩公園	12	0.050	<0.020	0.096
豊橋市	今橋	12	0.12	<0.013	0.25
	大崎	12	0.13	<0.013	0.28
	二川	12	0.12	<0.013	0.25
岡崎市	矢作	12	0.0017	<0.0013	<0.006
	東部檜山	12	0.0017	<0.0012	<0.006
豊田市	中部局 (三軒町)	12	0.016	<0.011	0.029
	新田局 (花園町)	12	0.026	<0.011	0.049
県内全地点平均 (18地点)		—	0.059	0.0017	0.37

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査機関	調査地点	塩化ビニルモノマー			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	小牧高校	12	0.0022	<0.0011	<0.008
	稲沢市役所	12	0.0028	<0.0015	0.008
	東海市名和町	12	0.0034	<0.0016	0.015
	半田市東洋町	12	0.0032	<0.0016	0.013
名古屋市	会所町	12	0.006	<0.007	0.016
	富田支所	12	0.012	<0.007	0.032
	港陽	12	0.009	<0.007	0.024
	野跡小学校	12	0.010	<0.007	0.025
	白水小学校	12	0.010	<0.007	0.033
	本地通	12	0.009	<0.007	0.022
	元塩公園	12	0.011	<0.007	0.024
豊橋市	今橋	12	0.0092	<0.0029	<0.05
	大崎	12	0.0092	<0.0028	<0.05
	二川	12	0.0092	<0.0028	<0.05
岡崎市	矢作	12	0.0033	<0.0015	0.015
	東部檜山	12	0.0024	<0.0016	<0.008
豊田市	中部局 (三軒町)	12	0.0074	<0.004	0.019
	新田局 (花園町)	12	0.0081	<0.004	0.022
県内全地点平均 (18地点)		—	0.0071	0.0022	0.012

- (注) 1 調査地点ごとの平均値の算出は算術平均により、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として算出した。
2 県内全地点平均の最小値・最大値は、年平均値の最小値・最大値を示す。

(単位：ngHg/m³)

調査機関	調査地点	水銀及びその化合物			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	東海市名和町	12	1.9	1.3	2.5
	半田市東洋町	12	1.3	0.31	1.9
名古屋市	会所町	12	1.8	1.1	2.2
	富田支所	12	1.9	1.5	2.3
	港陽	12	2.4	1.2	2.9
	白水小学校	12	2.4	1.9	3.9
	本地通	12	2.0	1.4	2.5
	元塩公園	12	2.0	1.3	2.4
豊橋市	今橋	12	2.0	1.5	2.8
	大崎	12	2.7	1.8	4.5
	二川	12	2.0	1.6	2.9
岡崎市	矢作	12	1.5	1.2	2.2
	東部檜山	12	1.4	1.1	1.8
豊田市	中部局（三軒町）	12	1.5	1.4	1.8
	新田局（花園町）	12	1.6	1.4	1.9
県内全地点平均（15地点）		—	1.9	1.3	2.7

(単位：ngNi/m³)

調査機関	調査地点	ニッケル化合物			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	東海市名和町	12	3.1	1.7	7.8
	半田市東洋町	12	1.2	0.57	2.2
名古屋市	会所町	12	2.0	1.1	5.8
	富田支所	12	2.7	<0.8	7.6
	港陽	12	5.6	1.8	20
	白水小学校	12	12	2.5	64
	本地通	12	7.8	2.1	21
	元塩公園	12	12	2.5	25
豊橋市	今橋	12	1.8	1.0	3.5
	大崎	12	2.4	0.52	4.1
	二川	12	1.9	0.48	3.2
岡崎市	矢作	12	0.72	0.15	1.4
	東部檜山	12	0.57	0.17	1.2
豊田市	中部局（三軒町）	12	1.5	0.41	4.8
	新田局（花園町）	12	2.6	0.65	8.1
県内全地点平均（15地点）		—	3.9	0.57	12

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査機関	調査地点	クロロホルム			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	小牧高校	12	0.12	0.054	0.19
	稲沢市役所	12	0.12	0.041	0.17
	東海市名和町	12	0.14	0.061	0.21
	半田市東洋町	12	0.14	0.067	0.21
名古屋市	会所町	12	0.26	0.16	0.43
	富田支所	12	0.29	0.16	0.47
	港陽	12	0.30	0.17	0.53
	野跡小学校	12	0.32	0.19	0.56
	白水小学校	12	0.38	0.17	0.99
	本地通	12	0.29	0.17	0.62
	元塩公園	12	0.34	0.19	0.75
豊橋市	今橋	12	0.30	0.14	0.57
	大崎	12	0.31	0.14	0.57
	二川	12	0.31	0.14	0.54
岡崎市	矢作	12	0.11	0.047	0.17
	東部檜山	12	0.11	0.039	0.17
豊田市	中部局 (三軒町)	12	0.15	0.098	0.20
	新田局 (花園町)	12	0.17	0.11	0.23
県内全地点平均 (18地点)		—	0.23	0.11	0.38

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査機関	調査地点	1,2-ジクロロエタン			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	小牧高校	12	0.084	0.017	0.23
	稲沢市役所	12	0.091	0.009	0.22
	東海市名和町	12	0.14	0.036	0.41
	半田市東洋町	12	0.10	0.023	0.22
名古屋市	会所町	12	0.16	0.10	0.34
	富田支所	12	0.18	0.10	0.36
	港陽	12	0.17	0.11	0.35
	野跡小学校	12	0.19	0.11	0.34
	白水小学校	12	0.17	0.10	0.34
	本地通	12	0.17	0.10	0.34
	元塩公園	12	0.18	0.11	0.35
豊橋市	今橋	12	0.27	0.14	0.42
	大崎	12	0.26	0.15	0.43
	二川	12	0.28	0.17	0.43
岡崎市	矢作	12	0.060	<0.008	0.16
	東部檜山	12	0.061	<0.008	0.16
豊田市	中部局 (三軒町)	12	0.10	0.055	0.18
	新田局 (花園町)	12	0.11	0.053	0.19
県内全地点平均 (18地点)		—	0.15	0.060	0.28

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査機関	調査地点	1,3-ブタジエン			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	小牧高校	12	0.024	<0.0017	0.081
	稲沢市役所	12	0.034	0.0054	0.067
	東海市名和町	12	0.037	<0.0017	0.086
	半田市東洋町	12	0.15	<0.0017	1.5
名古屋市	会所町	12	0.060	<0.015	0.15
	富田支所	12	0.046	<0.015	0.13
	港陽	12	0.046	<0.015	0.094
	野跡小学校	12	0.056	<0.015	0.14
	白水小学校	12	0.051	<0.015	0.11
	本地通	12	0.065	<0.015	0.11
	元塩公園	12	0.062	<0.015	0.13
豊橋市	今橋	12	0.0098	<0.009	<0.04
	大崎	12	0.0090	<0.009	<0.03
	二川	12	0.0092	<0.008	<0.04
岡崎市	矢作	12	0.038	<0.005	0.094
	大平	12	0.048	0.0046	0.13
	東部檜山	12	0.019	<0.0011	0.049
豊田市	中部局 (三軒町)	12	0.044	<0.003	0.11
	新田局 (花園町)	12	0.058	0.026	0.14
県内全地点平均 (19地点)		—	0.046	0.0090	0.15

(単位: ngAs/m^3)

調査機関	調査地点	ヒ素及びその化合物			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	東海市名和町	12	0.63	0.11	2.3
	半田市東洋町	12	0.60	0.089	3.4
名古屋市	会所町	12	1.9	0.33	7.6
	富田支所	12	2.0	0.40	7.3
	港陽	12	1.8	0.56	6.4
	白水小学校	12	1.7	0.38	5.6
	本地通	12	1.6	0.40	5.4
	元塩公園	12	1.6	0.50	5.8
豊橋市	今橋	12	0.67	0.23	1.8
	大崎	12	0.85	0.16	2.0
	二川	12	0.77	0.22	1.8
岡崎市	矢作	12	0.29	0.063	0.85
	東部檜山	12	0.31	0.044	0.80
豊田市	中部局 (三軒町)	12	0.50	0.17	1.4
	新田局 (花園町)	12	0.66	0.21	1.7
県内全地点平均 (15地点)		—	1.1	0.29	2.0

(単位：ngMn/m³)

調査機関	調査地点	マンガン及びその化合物			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	東海市名和町	12	25	6.4	60
	半田市東洋町	12	6.9	1.7	24
名古屋市	会所町	12	15	8.1	25
	富田支所	12	18	6.9	43
	港陽	12	31	14	58
	白水小学校	12	40	21	77
	本地通	12	30	17	46
	元塩公園	12	34	16	53
豊橋市	今橋	12	16	4.6	32
	大崎	12	71	3.9	160
	二川	12	23	4.5	93
岡崎市	矢作	12	5.2	1.3	13
	東部檜山	12	3.8	0.78	7.8
豊田市	中部局（三軒町）	12	9.0	2.0	19
	新田局（花園町）	12	15	2.1	25
県内全地点平均（15地点）		—	23	3.8	71

(単位：μg/m³)

調査機関	調査地点	塩化メチル			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	小牧高校	12	1.2	0.94	1.4
	稲沢市役所	12	1.3	1.1	1.5
	東海市名和町	12	1.3	1.1	1.6
	半田市東洋町	12	1.3	1.1	1.6
名古屋市	会所町	12	1.4	1.1	2.1
	富田支所	12	1.4	1.2	2.0
	港陽	12	1.5	1.3	2.0
	野跡小学校	12	1.4	1.2	2.0
	白水小学校	12	1.4	1.1	1.8
	本地通	12	1.4	1.2	1.8
	元塩公園	12	1.4	1.2	2.3
豊橋市	今橋	12	0.32	0.16	0.68
	大崎	12	0.32	0.10	0.62
	二川	12	0.33	0.12	0.60
岡崎市	矢作	12	1.2	0.98	1.4
	東部檜山	12	1.2	1.0	1.5
豊田市	中部局（三軒町）	12	1.2	1.1	1.4
	新田局（花園町）	12	1.2	1.1	1.4
県内全地点平均（18地点）		—	1.2	0.32	1.5

(単位：μg/m³)

調査機関	調査地点	アセトアルデヒド			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	稲沢市役所	12	3.5	1.6	6.0
	東海市名和町	12	3.3	1.4	5.9
	半田市東洋町	12	2.1	1.5	3.4
名古屋市	会所町	12	1.3	0.76	2.1
	富田支所	12	1.9	1.2	3.1
	港陽	12	1.9	0.88	3.4
	白水小学校	12	1.7	1.1	2.5
	本地通	12	1.4	0.86	2.1
	元塩公園	12	2.3	1.3	3.7
豊橋市	今橋	12	1.8	0.77	3.0
	大崎	12	2.0	0.81	3.3
	二川	12	2.0	0.95	3.4
岡崎市	矢作	12	2.8	1.5	6.3
	大平	12	2.6	1.6	5.1
	東部檜山	12	2.5	0.97	6.6
豊田市	中部局 (三軒町)	12	1.1	0.65	2.8
	新田局 (花園町)	12	1.4	0.67	2.3
県内全地点平均 (17地点)		—	2.1	1.1	3.5

(3) その他の物質の調査地点別結果

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査機関	調査地点	ホルムアルデヒド			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	稲沢市役所	12	2.2	0.97	4.3
	東海市名和町	12	2.3	1.1	4.9
	半田市東洋町	12	1.8	1.1	4.6
名古屋市	会所町	12	2.1	0.90	4.0
	富田支所	12	3.4	1.5	7.4
	港陽	12	2.9	1.1	5.3
	白水小学校	12	2.9	1.2	5.0
	本地通	12	2.4	1.3	4.6
	元塩公園	12	5.2	2.6	10
豊橋市	今橋	12	3.0	1.2	6.8
	大崎	12	2.9	1.1	6.4
	二川	12	3.3	1.5	6.3
岡崎市	矢作	12	2.1	1.2	2.9
	大平	12	2.1	1.3	3.0
	東部檜山	12	1.7	0.70	2.8
豊田市	中部局 (三軒町)	12	1.3	0.64	3.9
	新田局 (花園町)	12	1.7	0.58	3.5
県内全地点平均 (17地点)		—	2.5	1.3	5.2

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査機関	調査地点	酸化エチレン			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	東海市名和町	12	0.20	0.055	0.86
	半田市東洋町	12	0.058	0.041	0.13
名古屋市	会所町	12	0.061	0.031	0.10
	富田支所	12	0.060	0.028	0.11
	港陽	12	0.079	0.030	0.13
	白水小学校	12	0.081	0.028	0.13
	本地通	12	0.082	0.035	0.12
	元塩公園	12	0.10	0.036	0.28
豊橋市	今橋	6	0.053	0.030	0.088
	大崎	6	0.12	0.020	0.23
	二川	6	0.060	0.015	0.092
岡崎市	矢作	12	0.096	0.032	0.26
	東部檜山	12	0.062	0.038	0.10
豊田市	中部局 (三軒町)	12	0.050	0.030	0.089
	新田局 (花園町)	12	0.056	0.029	0.12
県内全地点平均 (15地点)		—	0.081	0.050	0.20

(注) 1 調査地点ごとの平均値の算出は算術平均により、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として算出した。

2 県内全地点平均の最小値・最大値は、年平均値の最小値・最大値を示す。

(単位：ng/m³)

調査機関	調査地点	ベンゾ[a]ピレン			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	稲沢市役所	12	0.083	0.020	0.26
	東海市名和町	12	0.13	0.049	0.36
	半田市東洋町	12	0.25	0.021	1.2
名古屋市	会所町	12	0.089	0.032	0.17
	富田支所	12	0.17	0.021	0.65
	港陽	12	0.12	0.035	0.24
	白水小学校	12	0.12	0.049	0.33
	本地通	12	0.12	0.038	0.29
	元塩公園	12	0.13	0.045	0.26
豊橋市	今橋	6	0.075	0.0092	0.22
	大崎	6	0.10	0.0027	0.23
	二川	6	0.073	<0.0015	0.23
岡崎市	矢作	12	0.072	0.0062	0.16
	大平	12	0.13	0.0046	0.62
	東部檜山	12	0.074	0.0031	0.25
豊田市	中部局（三軒町）	12	0.086	0.0065	0.34
	新田局（花園町）	12	0.10	0.010	0.33
県内全地点平均（17地点）		—	0.11	0.072	0.25

(単位：ngCr/m³)

調査機関	調査地点	クロム及びその化合物			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	東海市名和町	12	17	4.0	54
	半田市東洋町	12	2.9	0.65	9.9
名古屋市	会所町	12	4.5	<1.2	9.4
	富田支所	12	5.5	<1.2	12
	港陽	12	10	3.0	21
	白水小学校	12	15	4.8	37
	本地通	12	11	4.4	18
	元塩公園	12	17	6.7	31
豊橋市	今橋	12	3.7	1.7	9.2
	大崎	12	25	0.60	64
	二川	12	6.4	0.68	35
岡崎市	矢作	12	1.7	0.37	3.5
	東部檜山	12	0.97	0.30	1.7
豊田市	中部局（三軒町）	12	1.6	0.52	3.4
	新田局（花園町）	12	5.0	1.1	12
県内全地点平均（15地点）		—	8.5	0.97	25

(単位：ngBe/m³)

調査機関	調査地点	ベリリウム及びその化合物			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	東海市名和町	12	0.0074	0.0021	0.016
	半田市東洋町	12	0.0053	<0.0011	0.020
名古屋市	会所町	12	0.016	<0.010	0.035
	富田支所	12	0.015	<0.010	0.027
	港陽	12	0.021	0.012	0.030
	白水小学校	12	0.027	<0.010	0.058
	本地通	12	0.018	<0.010	0.030
	元塩公園	12	0.022	<0.010	0.039
豊橋市	今橋	12	0.026	<0.023	<0.17
	大崎	12	0.037	<0.027	0.12
	二川	12	0.026	<0.023	<0.17
岡崎市	矢作	12	0.0046	<0.0014	0.015
	東部榎山	12	0.0040	<0.0014	0.012
豊田市	中部局(三軒町)	12	0.009	<0.009	0.019
	新田局(花園町)	12	0.011	<0.009	0.035
県内全地点平均(15地点)		—	0.017	0.0040	0.037

(単位：μg/m³)

調査機関	調査地点	トルエン			
		検体数	年平均値	最小値	最大値
愛知県	小牧高校	12	7.0	3.6	13
	稲沢市役所	12	4.4	1.9	9.6
	東海市名和町	12	4.5	2.3	9.8
	半田市東洋町	12	3.1	1.6	6.2
名古屋市	会所町	12	6.1	1.5	13
	富田支所	12	4.2	0.91	9.8
	港陽	12	4.8	0.98	8.0
	野跡小学校	12	3.5	0.74	9.0
	白水小学校	12	4.7	1.3	8.5
	本地通	12	6.1	1.6	10
	元塩公園	12	5.7	1.6	9.7
豊橋市	今橋	12	2.9	0.95	9.7
	大崎	12	4.4	1.1	9.9
	二川	12	5.5	0.69	13
岡崎市	矢作	12	4.9	1.7	14
	大平	12	4.4	1.7	12
	東部榎山	12	2.4	1.4	5.0
豊田市	北部局(加納町)	12	3.0	1.2	5.4
	中部局(三軒町)	12	5.5	1.3	16
	新田局(花園町)	12	5.5	1.6	13
県内全地点平均(20地点)		—	4.6	2.4	7.0